



発行所
山形新聞社
山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023(622)5271
Copyright (c) 2010
Yamagata Shimbun

2010年
4月11日
〈日曜日〉

速電
報版子

購読申し込み
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた
ニュースオンライン

<http://yamagata-np.jp>

Mbi | eやましん

<http://yamagata-np.jp/k/>



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

井上ひさしさん死去

「吉里吉里人」「ひよっこりひよつたん島」

戯曲、小説 多彩な活躍

川西 出身 75 歳

「父と暮せば」「吉里吉里人」「ひよっこりひよつたん島」など、笑いと社会批評を織り交ぜた戯曲や小説、エッセーを数多く発表、平和運動にも積極的に関与した作家、作家で文化功労者の井上ひさし（いのうえ・ひさし、本名慶二ひさし）さんが9日午後10時22分、肺がんのため死去した。75歳。川西町出身。葬儀は近親者のみで行う。喪主は未定。

昨年10月に肺がんが見つかり、抗がん剤治療を受けていた。

上智大在学中に東京・浅草の劇場「フランス座」で文芸部員になり、執筆



活動に。1964年放送開始の「ひよっこりひよつたん島」（共作）で注目を集め、72年に戯曲「道元の冒険」（71年初演）で岸田国士戯曲賞、小説「手鎖心中」で直木賞を受賞。権力と庶民、戦争責任といった重厚なテーマを、言葉遊びやユニークな人物描写で軽やかに描いた。

渡辺美佐子さん主演の一人芝居「化粧」や「葎原検校」は海外でも高い評価を受けた。84年、自身の戯曲を上演する「こまつ座」を旗揚げ。広島で被爆した父と娘を主人公にした戯曲「父と暮せば」は黒木和雄監督で映画化もされた。幼少期の戦争体験から、反戦・反核や憲法擁護で積極的発言。2004年には作家大江健三郎さんらと「九条の会」を結成した。日本ペンクラブ会長も務め、言論や平和を守る運動の先頭に立った。

ほかの代表作に戯曲「しみじみ日本・乃木大将」「人間合格」「紙屋町さくらホテル」、小説「青葉繁れる」「四千万歩の男」。「ムーミンのテーマ」などテレビアニメの主題歌の作詞も手掛けたほか、「私家版日本語文法」など言葉に関する著作や農業問題での発言も話題を呼んだ。04年文化功労者、09年日本芸術院会員。読売文学賞、吉川英治文学賞、菊池寛賞など受賞多数。直木賞選考委員も務めた。

川西と山形に「遅筆堂文庫」井上さんは、中学時代まで過ごした古里川西町や、山形を思う気持ちが強かった。

自身の劇団「こまつ座」は、川西町小松から命名。1994年には、井上さんが寄贈した蔵書を基に、川西町が図書館とホール複合施設「町フレンドリープラザ」を開設。蔵書は「遅筆堂文庫」として活用されている。

2004年の山形新聞元日号では、山形市中心部を活性化するために「七日町劇場構想」を提唱。構想にシベールの熊谷真一社長が共鳴したことがきっかけとなり、同市内に08年9月、複合文化施設「シベールアリーナ&遅筆堂文庫山形館」が誕生した。